

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月19日			
平成15年度	事業コード	12220	電話	042-769-8344
担当部課名	保健所	地域保健	課	成人保健企画 班
事務事業名	基本健康診査事業			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	生涯にわたる健康づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第2節	市民健康づくりの推進	63以前年度
施策名	第2施策	保健サービスの充実	

2 実施根拠及び関連法令等

老人保健法第16条、保健事業実施要領

3 事務の区分

法定受託事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

国庫補助事業

6 受益者負担

あり

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
基本健康診査は、心臓病、脳卒中等の生活習慣病を予防する対策の一環として、これらの疾患の疑いのある者又は危険因子をもつ者をスクリーニングするとともに、診査の結果、必要な者に対して、栄養や運動等に関する保健指導や健康管理に関する正しい知識の普及を行うこと、又は医療機関への受診を指導することによって、壮年期からの健康についての認識と自覚の高揚を図ることを目的とする。	40歳以上の市民 (医療保険各法等のうち同様の保健サービスを受けた者を除く)
	対象数 93,900人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
診査内容...血圧測定、検尿、採血による高脂血症・肝機能・腎機能・血糖検査等 平成14年度から、従来の検査項目に肝炎検査(対象年齢有り)を追加した。 対象者数 93,900人 受診者数(見込) 45,300人 受診率(見込) 48.24%	
(4)個別計画の概要	概要 受診率の向上(平成16年度 50.0%を目標)
計画名	相模原市高齢者保健福祉計画
計画年次	12年度～16年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	基本健康診査要指導者率	=基本健康診査要指導者/基本健康診査受診者×100	基本健康診査受診者のうち、医師の指導及び市保健師の指導により生活習慣病予防に効果がある要指導者数を把握する	32	33	33	33	34
	基本健康診査受診率	=基本健康診査受診者/基本健康診査対象者×100	受診率を把握し、経年の受診状況を把握する	44	46	48	50	51

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費					
決算(予算)額	906,589	987,923	1,097,370	1,148,368	1,217,400
人員・時間数	3	3	3	3	3
人件費	25,260	25,260	25,260	25,260	25,260
その他経費	0	0	0	0	0
合計	931,849	1,013,183	1,122,630	1,173,628	1,242,660
特定財源	238,201	230,085	258,196	287,142	304,300
対象数	39,122	42,502	45,300	49,060	52,000
対象の単位あたり経費	23.8	23.8	24.8	23.9	23.9

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A：達成している	チェック項目	・成果指標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
	B：一部達成していない		・活動指標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
	C：達成していない		・事業目標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
		説明	受診勧奨等の効果により、受診率は年々向上しており、健康管理に関する知識の普及等が図られてきている。						
(2)必要性 評価 A ▼	A：適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/>	・市民や社会のニーズにかなっている					
	B：一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/>	・状況の変化(対象や内容)に対応している					
	C：適応していない		<input type="checkbox"/>	・当初設定した事業目的が達成されていない					
		説明	<input checked="" type="checkbox"/>	・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある					
(3)有効性 評価 A ▼	A：有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位の施策、計画目的達成のために有効である					
	B：一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/>	・期待された成果が得られている					
	C：有効ではない		説明						
		説明	健診結果に基づく保健指導や健康度評価事業等も充実しており、健診による生活習慣病予防の効果を向上させている。						
(4)効率性 評価 B ▼	A：優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/>	・予算や人員に見合った効果が得られている					
	B：一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/>	・他市と比べてコストや効率性が優れている					
	C：改善の余地がある		<input type="checkbox"/>	・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている					
		説明	<input checked="" type="checkbox"/>	・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない					
		説明	健診結果のデータ管理等については、電算処理により事務の簡素化を図ってきているが相当の事務量となっている。						
(5)公平性 評価 A ▼	A：公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/>	・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である					
	B：一部公平でない		<input type="checkbox"/>	・受益者の費用負担は適正である					
	C：公平でない		<input checked="" type="checkbox"/>	・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)					
		説明	国の基準に基づき減免規定を設け実施している。						
成果向上の余地			事業費削減のために取り得る手段と削減額						
<input checked="" type="checkbox"/> あり	説明： 検査項目の充実やがん検診との同時実施等の方法により、市民の利便と受診率の向上を図るとともに、健診委託先等の協力を得て、健診の効率性を高めていく必要がある。	手段	受診券の発行方法を検討し、省力化を図る。 受診者負担金の適正化を図る。						
<input type="checkbox"/> ない		削減額	千円						

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較						
		受益者負担額(受診者一部負担金額)						
		相模原市 ... 1,000円						
		横浜市 ... 500円						
		川崎市 ... 500円						
		横須賀市 ... 1,200円						
今後の進め方		総合評価に関する説明						
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	基本健康診査は、生活習慣病の早期発見と予防のため活用され、市民の健康に対する意識の向上、健康管理に関する正しい知識の普及等が図られている。						
<input type="checkbox"/>	見直し	今後は、受診率の向上と併せて、健診の結果、必要な者に対して行う保健指導及び健康度評価等の事業充実を図っていく。(平成14年度より健康度評価事業の試行実施)						
<input type="checkbox"/>	廃止							
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済							

12 二次評価コメント

<ul style="list-style-type: none"> ・受診率の向上と省力化について検討すること ・受益者負担額の見直しを検討すること
